

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成30年～平成34年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	(きそがわ) 木曽川森林計画区 (岐阜県)	事業実施主体	中部森林管理局 東濃森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、木曽川森林計画区の中津川市を含む4市1町に所在する約21千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、岐阜県の南東部に位置し、森林の現況はヒノキを主体とした人工林が多く、人工林45%、天然林46%、その他9%となっている。人工林の樹種別面積割合は、スギ10%、ヒノキ77%、カラマツ4%、その他が9%で、ヒノキの占める割合がきわめて高い地域である。このような森林資源が充実する中、人工林における樹齢構成のうち、除伐や間伐等の保育作業適期を迎えている5齢級から12齢級の占める割合が57%と高いことから、低コスト作業システムを活用した間伐作業の実施等、なお一層の森林整備の必要性が高まっている。</p> <p>本地域は、銘柄材「東濃檜」の主要な生産地でもあり、流通・加工団地によるヒノキの産地形成が進んでいることから、国有林においても、木材の持続的な供給に関する要請があり、その実施を通じて、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>また、本地域は、中京圏の重要な水源地帯であるとともに、北部は急峻な地形をなし中央に阿寺断層が走っており、南部は花崗岩が深層風化を受け小崩壊地が多いなど、地形や地質等の条件から、水源の涵養及び土砂の流出・崩壊の防備等の国土保全の役割が重要となっている。</p> <p>このほか、自然景観に恵まれた地域については、裏木曽県立自然公園等の自然公園に指定されており、登山や自然観察などの森林レクリエーション、保健休養の場として多くの人々に利用されるなど観光資源としての特性も兼ね備えている。このことから、山地災害による人命・施設の被害防備や自然環境の保全、風致景観の維持及び保健休養の場の提供などの公益的機能を高度に発揮させることが求められている。</p> <p>このため、本事業においては、こうした地域の要請やニーズに応えつつ、水源の涵養をはじめとした公益的機能の維持増進を図ることを目的として、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">495ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">2,413ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">9.4km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">1.0km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,479,077 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	495ha			保育面積	2,413ha		路網整備	開設延長	9.4km			改良延長	1.0km	総事業費			2,479,077 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	495ha																				
		保育面積	2,413ha																				
	路網整備	開設延長	9.4km																				
		改良延長	1.0km																				
総事業費			2,479,077 千円																				
費用便益分析	総便益(B)	8,318,044	千円																				
	総費用(C)	3,587,966	千円																				
	分析結果(B/C)	2.32																					
中部森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当と判断される。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 水源の涵養、国土の保全及び地球温暖化防止対策などの公益的機能の維持増進並びに木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性 費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 事業計画は、保育等の森林整備を通じ、多面的機能を発揮する健全な森林の育成に資するものであり、路網の整備についても森林整備と連携したものとなっている。加えて、木材の安定供給を行うなど地域産業の振興にも資するものとなっていることから、有効な事業であると認められる。 																						

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名 : 森林環境保全整備事業
 施行箇所 : 木曾川森林計画区

都道府県名 : 岐阜県
 (単位 : 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,938,529	
	流域貯水便益	661,844	
	水質浄化便益	1,515,278	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,654,688	
環境保全便益	炭素固定便益	484,869	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	451,090	
	木材生産確保・増進便益	904,112	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	696,553	
維持管理費縮減便益		11,081	
総 便 益 (B)		8,318,044	
総 費 用 (C)		3,587,966	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{8,318,044}{3,587,966}$		= 2.32

森林環境保全整備事業 木曽川森林計画(岐阜県) 事業概要図

木曽川森林計画区

中部森林管理局管内
森林計画区位置図

森林整備事業 (地拵前)



(地拵後)

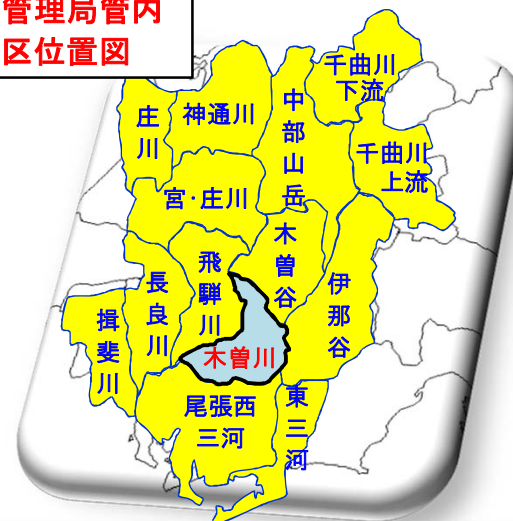


平成28年度 東濃森林管理署 地拵

森林整備事業 (間伐後)



平成29年度 東濃森林管理署 保育間伐



路網整備事業 (林道改良工事)



橋梁の架け替え



平成26年度 東濃森林管理署 夕森田立(丸野)橋梁架設工事

下刈作業

